

2006年5月号(第42号)

発行人：曾山 信彦

兵庫県淡路市志筑1391-9

Tel: 0799-62-5566

http://www.h6.dion.ne.jp/~soyama

# ふれあい曾山医院

## 肛門出血に気付いたら・・・

トイレで便に血が混じっていたり紙に血が付いている・・・などという経験はありませんか？治療せずに放置すると危険な病気のサインを見のがしたりします。

肛門からの出血の多くは「痔」ですが痔といっても大きく分けて痔核、裂肛、痔瘻という三つの種類があります。

①痔核：・肛門の血行が悪くなり血管の一部がふくれ

あがる。俗にイボ痔と呼ばれます。

②裂肛：・排便時に肛門の皮膚が裂けるもので俗に切れ痔と呼ばれます。

③痔瘻：・細菌感染によって肛門周辺が化膿したもので、うみが出たり痛みを伴います。

肛門の血行が悪くなるのは人間が立って歩いているからです。

便秘は痔の大きな原因です。日頃から繊維質の多い食品を食べるなどバランスのとれた食事を心がけましょう。(かぼちゃ、干し柿、ひじき、こんぶ、おから、納豆など)

肛門の出血は、痔や大腸ガンなどの早期発見を行なう重要なサインです。早いうちに治療をすればそれだけ早く治り快適な生活に戻れます。

(看護師 大島 とき子)



長時間、同じ姿勢を続けない



無理にいきまない



### 痔を予防するためのポイント

1. 毎日お風呂に入りましょう。(温まると血行が良くなる。)
2. 肛門はいつも清潔にしましょう。(細菌の繁殖や炎症を防ぐため。)
3. 便秘や下痢をしないように心がける。(便秘は肛門を傷つける。下痢は細菌感染をおこしやすくする。)
4. 排便時は強くいきまない(肛門に負担をかけると、うっ血や裂傷を起こす原因となる。)
5. 体を冷やさない様に気をつける。(肛門の血行を悪くする。)
6. 長時間、同じ姿勢を続けない。(肛門のうっ血を起こしやすくする。軽く体を動かして血行をよくさせる。)
7. 刺激物は控えめに(アルコール、こしょう、わさび、からしなど、肛門を刺激し、うっ血を起こす。)

## 漢方入門 ①

今回は肛門疾患の漢方治療についてご紹介させていただきます。

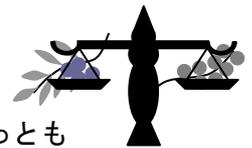
痔には痔核、裂肛、脱肛などの種類があり、かゆみや痛み、出血などを伴います。もっとも多くみられるのは、肛門の周りの静脈がうっ血してイボのようにふくらむ痔核、排便時に切れる裂肛です。

西洋医学では痛みやかゆみをしずめる座薬や軟膏を使いますが、漢方では身体下部の局所のうっ血と考え、駆瘀血剤(クオケツザイ)が多く用いられます。

痔の代表的な処方乙字湯(オツジトウ)という漢方薬です。乙字湯(オツジトウ)はもともと痔や脱肛の薬として江戸時代に日本人が作った漢方薬であり、配合生薬の中の升麻(ショウマ)は引き上げる作用、当帰(トウキ)は局所の血液循環を改善する作用があります。虚弱な方の場合には同じ升麻(ショウマ)や当帰(トウキ)が配合されている補中益気湯(ホチュウエッキトウ)も効果があります。

また、痔出血が続くときには芍薬膠艾湯(キュウキキョウガイトウ)という処方が、軽症の痔には紫雲膏(シウコンコウ)という漢方の軟膏剤も使われます。

痔の症状でお悩みの患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご相談下さい。



今回の題字は、読者の方にお書きいただきました。